

2016年(平成28年)3月29日(火曜日)

(第3種郵便物認可)

「ハマヤク農園」来月誕生

横浜薬科大命名 市民参加型ハーブ園も

横浜市が戸塚区深谷町に整備した農園付き公園「深谷町ふれあい公園」が4月1日にオープンする。市内の公園では初めて命名権(ネーミングライツ)を導入し、近くにキャンパスがある横浜薬科大学と契約を結んで愛称を「ハマヤク農園」とした。市民参加型のハーブ園などを整備するといふ。

農園付き公園は、市民が野菜や草花を自由に栽培できる貸し農園を備えた施設。市が2013年から整備を始め、今年4月1日時点で計6か所になる。市が負担する公園管理費を賄う目的で命名権を募り、ハマヤク農園が愛称を持つ第1号となった。同大とは年額360万円で10年契約を結んだ。

ハマヤク農園の面積は約4300平方メートルで、個人・団体向けの貸し農園計89区画のほか、同大や指定管理者が管理する協働農園がある。同大の協働農園には、市民参加型のハーブ園を整備。地域住民が栽培や収穫を体験したり、ハーブの楽しみ方を学ぶ講座を開いたりする計画だ。

同大は「活動には学生も参加し、今年は住民と一緒に計7種類のハーブ、薬草を育てていく。農園での活動を契機に、今後も地域住民との交流を積極的に進めていきたい」としている。

ハマヤク農園の面積は約4300平方メートルで、個人・団体向けの貸し農園計89区画のほか、同大や指定管理者が管理する協働農園がある。同大の協働農園には、市民参加型のハーブ園を整